

8/25 自己記録更新に挑戦 第29回洞爺湖町水泳競技大会

洞 爺湖町水泳協会は第29回洞爺湖町水泳競技大会を町民プールで開催し、洞爺湖町水泳少年団や伊達スイミングクラブのほか、町内の小中学生のスイマーなど32人が参加し、自己記録の更新を目指しました。

競技は男女とも小学1・2年生、同3・4年生、同5・6年生、中学生、高校生、一般の年齢別で行われ、種目は8種類が実施されました。選手たちは、仲間や家族の声援を背に、力強い泳ぎを披露しました。



勢いよく飛び込む選手

8/24 三豊フレンドリーツアーで小学生来町 地元小学生と交流を深める

友 好都市の三豊市から小学生が3泊4日の日程で洞爺湖町に来町し、地元小学生との交流を深めました。

来町したのは、「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」の小学6年生26人と引率者3人の総勢29人。

滞在中には遊覧船に乗って中島散策や洞爺湖ビジターセンター・火山科学館見学などを実施。カヌーやジャガイモ堀りなども体験し、洞爺湖町での短い生活を満喫しました。



ジャガイモ堀りを楽しむ子どもたち

8/26 熱唱披露 NHK のど自慢公開放送

NHKの人気番組「のど自慢」の公開放送が、堀内孝雄さんと岩崎宏美さんをゲストに迎え、洞爺湖文化センターで行われました。

当日は、前日の厳しい予選を通過した20組が出演し、応援を背に自慢の歌を披露しました。

審査の結果、チャンピオンには、町内在住の坪井広宣さんが選ばれました。

予選会には、町内外から204組が挑み、本選出場に向けて熱い歌声を響かせました。



本選出場を果たした皆さん

8/26 新鮮洞爺の野菜直売 青年農業者団体 AC とうや

洞 爺湖町と豊浦町の青年農業者で構成するACとうや（小山雄矢会長）主催の野菜直売所が、蛇田テニスコート駐車場で開催されました。

午後の販売時間に合わせて採ったスイートコーン300本のほか、大根やニンジン、枝豆など約15種類の新鮮な野菜や果物が並べられました。小山会長は「とうやの野菜をもっと知ってもらいたいので、こういう活動を続けたい」と話しました。



スイートコーンを買求める住民たち

9/2

戦争体験の記憶を次世代へ すいとん食べて戦争を語りつく集い

戦争の悲惨さや愚かさ、平和の尊さを伝える「すいとん食べて戦争を語りつく集い」（洞爺湖町非核平和のまちづくり実行委員会主催）が、虻田ふれ合いセンターで開催。約50人が恒久平和を誓い合いました。

当日は、戦争体験のDVDを鑑賞した後、手作りのすいとんを味わいながら、体験を語り合いました。木村利正委員長が「子どもや若い人に戦争の悲惨さを継承していかなければならない」と話しました。



すいとんを食べて語り合う皆さん

9/2

洞爺湖を駆け抜ける 第56回全道サイクリング洞爺湖大会

第56回全道サイクリング洞爺湖大会（日本サイクリング協会、北海道サイクリング協会が主催）が洞爺湖温泉街を発着点に行われ、184人が参加しました。

コースは温泉街の遊覧船乗り場横特設会場をスタートとゴール地点として、洞爺湖を反時計回りに進む、全長36.3^{キロ}のコース。

参加者は、快晴の下での洞爺湖畔の絶景を楽しみながら、心地よい汗を流していました。



自然を楽しみながら温泉街の湖畔を走る選手

9/23

先祖、神に祈り アイヌ先住民族慰霊祭

平成30年度洞爺湖町アイヌ先住民族慰霊祭（洞爺湖アイヌ協会主催）が、歴史公園「先住民族慰霊碑」前で厳かに行われ、約20人が参加し、先祖や神に祈りを捧げました。慰霊祭では、火の神、幣場を司る神、家の守り神それぞれに祈りを捧げるカムイノミと先祖を供養するイチヤルパを執り行いました。

最後に、藤野満裕会長が「皆さんの協力で民族儀式を行えたことを感謝します」とお礼の言葉を述べました。



厳粛な中で執り行われたアイヌ民族慰霊祭

9/18

自然への理解を深める 「緑はどうなった？」授業

毎年、春と秋に行われている「緑はどうなった？」授業が洞爺湖温泉小学校で行われ、全校児童33人が参加しました。

この授業は、有珠山噴火後の緑の再生を通して、噴火災害や減災、自然への理解を深めてもらうために実施しています。

今回は宝物探しと題し、洞爺湖畔の森でミズナラやトチノキの種を採取。採った種を来年の春の植樹に向け「大きく育ってね」と願いを込めて、ポットに植えました。



ポットに種を植える温泉小学校の子どもたち